

さるとかえるの旅

和歌山県

むかし、さるとかえるが、熊野参くまのりをするにしました。とちゅう、おたがいにおぶいっこして行くことに決めました。

はじめに、さるがかえるを背負いました。さるは、一生懸命走っていきました。つぎに、かえるがさるを背負いました。かえるは、

「さるさん、空を見ていておくれ」といつて、走りだしました。

さるが、空を見ていると、あんまりはやく走るので、目がまわりそうになりました。

「かえるさん、かえるさん。そんなにはやく走るなよ」と、さるはいいました。

今度はさるが背負う番になりました。さるが、かえるの背中から下りると、さつき背中に乗った所と、とてもよくにいました。さるは、

「かえるさん。ここはさつきの所と同じじゃないか」といいました。かえるは、

「いや。熊野に着くまでに、同じ所が七か所あるんだ」と答えました。

こうして、にひきは、たがいにおぶいっこして、熊野参りをしてきました。

さるは、いつも空ばかり見ていたので、雲が走るのを見て、かえるが走っているのだばかり思っていましたとさ。

おしまい

村上郁再話

資料『有田郡童話集』森口清一